

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費

事業名 交番・駐在所安全対策費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 地域部 地域課 電話番号：058-271-2424 (内 3571)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 39,727 千円 (前年度予算額：39,727 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	39,727	0	0	0	0	0	0	0	39,727
要求額	39,727	0	0	0	0	0	0	0	39,727
決定額	39,727	0	0	0	0	0	0	0	39,727

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

交番・駐在所では、パトロールや巡回連絡等様々な活動を通じ、地域の実態に即した活動を行っている。また、昼夜を分かたず、様々な警察事象に即応する活動を行っているが、近年、全国的に交番・駐在所が襲撃される事件が断続的に発生している。

これらの中には、拳銃奪取事案、更には殉職事案など、県民の安全・安心を脅かす事案に発展するケースもあり、その対策は急務となっている。そのため、交番・駐在所の勤務員等の安全を確保するため、警察施設のセキュリティ対策を推進する。

(2) 事業内容

交番・駐在所の事務室内に遮蔽板やカウンターを設置することにより、悪意ある者からの不意の攻撃等を物理的に防止する。

令和3年度から3か年計画で建替予定を除く未整備の交番・駐在所を順次整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

交番・駐在所に勤務する警察官等の安全性を高めることは県民の安全・安心を確保する上で必要不可欠であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	39,727	遮蔽板等購入費
合計	39,727	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 国・他県の状況

富山県、愛知県などの他県でも同様の対策が講じられている。

(3) 後年度の財政負担

設置後の維持経費は発生しない。

(4) 事業主体及びその妥当性

襲撃により拳銃を奪取され、県民が被害に遭うことの防止や警察機能の維持を目的とするものであり、県が主体となることは妥当である。

事業評価調書(県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
交番及び駐在所の安全対策を実施することで、勤務員及びその家族の安全を守る対策を令和3年度からの3か年で実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	R1年 実績	R2年 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

警察官等の安全確保のために順次遮蔽板を設置していくものであり、目標を設定することは困難である。

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	治安情勢や立地等の諸条件から選定した駅近交番等7所と建替え交番・駐在所5所を整備した。 勤務員と来訪者が物理的に分断され、間合いの確保、不意を突く初撃回避などの受傷事故防止対策が図られたほか、新型コロナウイルスに関連する飛沫防止にも効果を発揮した。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	社会的反響の大きい重大事件の発生を抑止する対策であり、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	必要な整備を計画的に行っており、有効である。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	勤務員及びその家族にとっての安全対策は、必要性に応じて計画的に実施しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 警察官等の安全が脅かされる新たな事件が発生した場合、検証を踏まえて更なる安全対策を施していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 複数年での計画的事業であり、次年度以降も計画に沿って実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	